

さわやか麻里布っ子

2020年 2月

チャレンジ目標の達成に向けて

麻里布小学校のチャレンジ目標について、第2回学校評価アンケートの結果（1月15日付け保護者様宛文書で配布済み）から、成果や課題についてお知らせしたいと思います。

1 自分からあいさつをしよう

あいさつについては、肯定的な評価が、児童は86%、保護者の皆様は78%で、どちらも前回は上回っています。実際、教員もよくなっていると感じています。自分からあいさつができる児童が増えていることは成果だと思います。しかし、知っている人へはあいさつをするが、知らない方にはあいさつができていないのではないかということが課題として挙げられています。

2 だまってどうじをしよう

掃除については、児童の肯定的な評価は77%と1ポイント前回よりよくなりました。教員の評価は、前回と同様で57%とやや厳しい見方ようです。しかし、教員の声かけ等により、黙って取り組む姿が多く見られるようになっており、縦割り班（1年～6年）で分担された場所を掃除する活動での頑張りも見られるようになっています。

3 はきものをそろえよう

はきものの整頓については、児童は81%と高い結果でした。事実、進んでトイレのスリッパをそろえている児童はたくさんいますし、靴箱の靴もそろっています。し

かしながら、保護者の皆様や教員の評価は前回と同じで50%台と低くなっています。おそらく、ご家庭での様子を見られての評価でしょう。学校でもトイレのスリッパは、できたりできなかつたりが繰り返させているからだと思われます。

これらの結果を受けて、児童の意識が向上し肯定感が高まっていることは素晴らしいことなので、これからも子どもたちを励まし指導していきます。

保護者の皆様におかれましても、我が子の成長を褒め、チャレンジ目標の達成に向け取り組むことが、次の学年に向けても大事なことであると話し、励ましていただけると幸いです。

よい生活習慣で、心も体も健康に

今、世の中を騒がせている新型ウィルス。メディアからは、予防には手洗いうがいが必要との声が多く聞かれます。つまりは、何事も日頃の生活習慣が大切ということでしょう。お子様の生活習慣はいかがでしょうか。ゲーム機やタブレット・スマホなどに夜遅くまで夢中になっているということはないでしょうか。寝不足は、免疫力の低下にもつながります。寒さの増してきたこの時期、「しっかり運動し、きちんと食べて十分な睡眠をとる」そんな生活習慣について、ご家族で話題にされてはいかがでしょうか。